

新規のたんぱく質、糖鎖腫瘍マーカーの探索

1. 研究の対象

2018 年 2 月以降に当院で消化器癌、婦人科癌、泌尿器癌、肉腫で治療を受けられ方、及び、人間ドックを受診された方

2. 研究目的・方法

特定のたんぱく質や糖鎖が腫瘍マーカーとして癌の診断に広く利用されています。例えば、肝臓癌に対する AFP や大腸癌に対する CEA などはたんぱく質の腫瘍マーカーです。また、CA19-9 は膵臓癌をはじめとする消化器癌で使われている糖鎖腫瘍マーカーです。しかし、癌の診断の精度向上、さらには早期診断にむけて、さらなる腫瘍マーカーの開発が必要です。本研究では、手術サンプル、血清、尿などに存在するたんぱく質や糖鎖を詳細に解析することにより、新規の腫瘍マーカーを探索します。試料の保管、解析は主に、大阪国際がんセンター内で行われますが、一部は、大学などの共同研究機関に送付し、保管、解析を依頼することがあります。

研究機関：2018 年 2 月～2027 年 3 月

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、画像所見、カルテ番号 等

試料：血液、尿、手術により切除されたがんや肉腫などの組織

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先、研究責任者：

大阪国際がんセンター 臨床検査科 副部長 宮本 泰豪

住所：〒541-8567 大阪府中央区大手前 3-1-69

電話：06-6945-1181